

出張講義開講科目内容紹介

氏名	鈴木 将人 (すずき まさと)
講義題目	経営学って何だろう
キーワード	企業、経営管理、企業と社会
講義概要	大学のホームページやパンフレットを見ると、さまざまな学問分野があるのがわかると思います。一方で、それらはどんなことを学ぶのかよくわからないと思っている人が少なくないのではないのでしょうか。宮古短期大学部で学ぶ分野の1つに経営学がありますが、高校生・保護者・高校の先生方から「経営学って何ですか？」という質問を受けることがあります。本講義では、経営学がどのような分野であるのかについて、わかりやすく解説します。
対象	高校生
備考	パソコン、プロジェクター、スクリーン、マイクを使用します。

氏名	松本 安司(まつもと やすし)
講義題目	会計の使われ方とその変化
キーワード	会計 企業情報
講義概要	会計と聞いて多くの方がイメージするのはお金の計算です。人間が実際に計算することが随分少なくなった現在、会計を学ぶ意味が薄らいでいるように思うかもしれません。しかし実際は逆で、人間の計算能力があまり問われなくなってきた時代になってから、会計知識は重要だ、会計は学んでおくべき、などの意見をよく見るようになりました。その理由の一つには、会計が企業の将来を予測するために役立つことが広く知られるようになり、会計情報の理解力や分析力が重視されるようになってきたことがあると思います。この講義では、会計情報の使い道をいくつか紹介し、特に近年著しく変化している投資意思決定(株式投資など)情報としての会計の役割についてお話ししたいと思います。
対象	不問
備考	

氏名	雲然 祥子 (くもしかり さちこ)
講義題目	「東北」の経済と開発の歩みを考える
キーワード	国民経済、日本経済、地域経済、東北経済、「東北」、サプライチェーン、製造業
講義概要	私たちが住んでいるこの「東北」は、これまでにどのような歩みをたどってきたのでしょうか。この講義では「『東北』の経済と開発の歩みを考える」をテーマにして、私たちの身近な地域であるこの「東北」について考えてみます。特に、現代における日本経済の歩みの中で「東北」はどのような位置づけにあるのか、「東北」に対してはどのような政策が展開されたのか、それによって「東北」がどのような役割を担うようになったのか、などについて、様々な史資料を使用しながら考察します。それによって「東北」の過去を学び、現在(いま)を知り、未来を考えるための手がかりにしたいと思います。
対象	中学生または高校生以上、および学生・保護者・教職員・一般の方 (中学生以上であれば、年齢・業種など問わず、どなたでも受講可能です)
備考	パワーポイントを使用するため、パソコンを使用できる環境(特にプロジェクターとスクリーン)が必要となります。 講義時間につきましては、要望に合わせて設定いたしますので、事前にご相談ください。

氏名	雲然 祥子 (くもしかり さちこ)
講義題目	「東北」の工業開発の歩みを考えるー主に岩手県の地域を事例にしてー
キーワード	日本経済、地域経済、東北経済、工業開発、工業振興、岩手県、「東北」
講義概要	<p>私たちが住むこの「東北」は、日本の高度経済成長期以降、製造業を中心とする工業集積が進んだ地域の一つです。特に1970年代以降、太平洋側を中心にそれが顕著に見られ、今日においてもなお、日本経済を支える重要な工業地域としての役割を担っています。</p> <p>この講義では、主に岩手県内の地域を事例にして、「東北」の工業開発の歩みを考えてみます。現代日本において「東北」はいつから工業開発に着手し始めたのか、どのようなかたちで工業誘致・工業振興を進めたのか、それらによって「東北」にはどのようなことが起こったのか、そして「東北」が、日本全体の中でどのような役割を担うようになったのか、などについて、様々な史資料を使用しながら考察します。</p>
対象	中学生または高校生以上、および学生・保護者・教職員・一般の方 (中学生以上であれば、年齢・業種など問わず、どなたでも受講可能です)
備考	<p>パワーポイントを使用するため、パソコンを使用できる環境 (特にプロジェクターとスクリーン) が必要となります。</p> <p>講義時間につきましては、要望に合わせて設定いたしますので、事前にご相談ください。</p> <p>また、講義内容のうち、事例として取り上げる地域については、青森県・宮城県・福島県も取り上げることも可能です。ご希望の地域がありましたら、こちらも事前にご相談ください。</p>

氏名	雲然 祥子 (くもしかり さちこ)
講義題目	郷土・東北の先人たちから学ぶこと
キーワード	東北地方、知識人、近代日本、現代日本、大正デモクラシー、キリスト教、平和思想、憲法
講義概要	<p>私たちの住む「東北」はこれまで、数多くの偉大な先人たちを数多く輩出してきました。彼らの中には、今日の教科書に載るくらい、日本の歴史の中で燦然と輝くような功績を残した人もいれば、大きな功績があるにも関わらず、歴史の中にひっそりと“隠れている”人もいます。</p> <p>この講義では、郷土の先人たちの中から何人かの人物 (新渡戸稲造、吉野作造、鈴木義男など) をピックアップし、彼らの共通点について探ります。また、その中から一人をピックアップし、残された史資料を手がかりに、その人物の生涯をたどる中で見えてくるものが何か、それが今日の私たちに何を伝えようとしているのかを考えてみたいと思います。</p>
対象	中学生または高校生以上、および学生・保護者・教職員・一般の方 (中学生以上であれば、年齢・業種など問わず、どなたでも受講可能です)
備考	<p>パワーポイントを使用するため、パソコンを使用できる環境 (特にプロジェクターとスクリーン) が必要となります。また、場合によっては映像を投影しますので、音響が必要になることもあります。</p> <p>講義時間につきましては、要望に合わせて設定いたしますので、事前にご相談ください。</p>

氏名	大志田 憲 (おおしだ けん)
講義題目	コンピュータグラフィックスプログラミング入門
キーワード	コンピュータグラフィックス、プログラミング、画像処理
講義概要	<p>コンピュータで扱う画像の色の仕組みから、簡単な図形作成、画像処理 (写真加工) まで、サンプルプログラムを使いながら学習します。Processing (プロセッシング) というプログラミングツールを使います。Processingはビジュアルデザインのためのプログラミング言語で、プログラミング初心者でも簡単にグラフィック表示を行うことができます。</p>
対象	高校生
備考	<p>プロジェクタおよびパソコン環境が必要となります。</p> <p>会場については、本学のコンピュータ室、あるいは高校のコンピュータ室等での講義も可能な場合もありますので、事前にご相談いただければと思います。</p>

氏名	大志田 憲(おおしだ けん)
講義題目	AIについて考えてみよう
キーワードB	AI、コンピュータ
講義概要	最近、AIという言葉が世の中に広まっています。AIでどんなことができるのだろうか？生活や企業活動の中でどのように使うことができるのだろうか？そもそもAIとはなんだろうかといったことについて、身近な例などを使いながら基本的なことを学んでいきたいと思えます。
対象	高校生
備考	プロジェクタを使用します。

氏名	昇高 茂樹(しょうたか しげき)
題目	Micro:bitを用いたプログラミング演習
キーワード	プログラミング
講義概要	コンピュータの普及により色々な作業がコンピュータによって行われています。コンピュータに作業させるためには命令を記述するプログラミングが必要となります。 この講義ではMicro:bitと呼ばれる小さなコンピュータを使用して簡単なプログラミングを行いプログラミングに興味を持ってもらい、身近に感じてもらうことを目的としています。
対象	小学生・中学生・高校生
備考	Micro:bitは大学で用意しますが、演習を行うために1人1台のPCが必要になります。また講師用にパソコンとプロジェクタ、スクリーンを使用します。 宮古短期大学部の施設を利用した実施も可能です。

氏名	田中 宣廣 (たなか のぶひろ) 「日本語学」 ＝日本語音声学, 地域言語学, 社会言語学, 日本語史学
講義題目	岩手県沿岸部の方言から学ぶ自然な地域語の観方 (みかた)
キーワード	生活語, 日本語, 地域言語, 沿岸部の方言, 地域文化, アクセント
講義概要	この講座の目的は、日本語と地域言語の正しい観方(みかた)について考えることです。その材料に、私たちの住む岩手県沿岸部の方言を使います。普段私たちが友達との会話や生活に使う日本語こそ、私たちの思考や感情を100%表現しきれぬ唯一の表現体系です。これら自然言語について小学校から高校まで学ぶ機会が少ないのですが、その正確な認識は、「国語」の成績向上や豊かな言語生活そして正しいコミュニケーションに必要です。また、本講座の材料の岩手県沿岸部の方言には、日本語の中でも珍しい現象があります。ぜひこの機会に一つでも二つでも理解し、地域文化に対する愛着心を抱いていただきたいと思います。 【予定内容】 1_『岩手県沿岸部の方言』の位置と概要 / 2_「岩手県沿岸部方言」の特徴 / 3_岩手県内外の他地域との異同内容 / 4_地域言語の将来
対象	中学生, 高校生, 学校教職員, 及び, 講義内容にご興味をお持ちの一般の方。 ～講座の内容や構成は, 受講者に合わせて調整します～
備考	パソコンからHDMI接続による大画面の映像投影+音声発出装置をご用意ください。 パソコンは, 講師が持参しますので, それ以外の投影+音声装置をご用意いただきます

氏名	田中 宣廣 (たなか のぶひろ) 「日本語学」 ＝日本語音声学, 地域言語学, 社会言語学, 日本語史学
講義題目	ことばの声を目で見える工夫
キーワード	言語音声, 調音器官, 音声記号, 音声波形, ピッチグラム, サウンドスペクトログラム
講義概要	考察課題は「言語音声の可視化」です。言語音声(ことばの声)はそのままでは見えませんね。そのなか言語学の研究では, 言語音声を可視化＝見えるように種々工夫しています。可視化する理由は, 可視化すると, 言語音声のしくみが(見えないままではわからないことも)よくわかるからです。この講義では, 下記「予定内容」の4段階で言語音声可視化の概要を理解します。 【予定内容】1_言語音声の生成機構/2_言語音声の可視化方式/3_可視化により理解できる音声性質/4_代表の人(数人)が言語音声を発音して実際の音声を可視化
対象	中学生, 高校生, 学校教職員, 及び, 講義内容にご興味をお持ちの一般の方。 ～講座の内容や構成は, 受講者に合わせて調整します～
備考	パソコンからHDMI接続による大画面の映像投影+音声発出装置をご用意ください。 パソコンは, 講師が持参しますので, それ以外の投影+音声装置をご用意いただきます。

氏名	田中 宣廣 (たなか のぶひろ) 「日本語学」 ＝日本語音声学, 地域言語学, 社会言語学, 日本語史学
講義題目	「狂言」資料からわかる現代日本語の成り立ち
キーワード	能楽, 狂言, 近代語, 現代語, 方言, 活用型, 変遷
講義概要	「狂言」は, 南北朝～室町時代に成立発展し, 江戸時代を通じて台本が整理され, 現代に伝わる日本芸能を代表する, “喜劇性”や“日常性”が特徴の演劇です。「能」と共用の「能舞台」で演じられ, 「能」といわば『兄弟』のように発展してきました。「狂言」に使われているのは江戸時代の日常のことばなので, 狂言台本の日本語を調べますと現代日本語の形成過程がよく分かります。台本や動画から語彙・語法・音韻等の言語現象について適宜解説を加えつつ考察していきます。また, 伝統芸能も「易しい」「楽しい」「親しみやすい」ものであることを理解しましょう。 【予定内容】1_日本語の歴史の区分/2_狂言台本の日本語/3_語法の変遷/4_語彙の変遷/5_狂言の構成/6_能舞台と舞台上の人々の役割/7_能楽の流儀/8_狂言鑑賞入門
対象	中学生, 高校生, 学校教職員, 及び, 講義内容にご興味をお持ちの一般の方。 ～講座の内容や構成は, 受講者に合わせて調整します～
備考	パソコンからHDMI接続による大画面の映像投影+音声発出装置をご用意ください。 パソコンは, 講師が持参しますので, それ以外の投影+音声装置をご用意いただきます。 これに加え, DVDによる動画上映装置を必要とします。

氏名	大前 義幸(おおまえ あきゆき)
題目	宮沢賢治の短編を読む
キーワード	宮沢賢治, 小説, 作品理解
講義概要	宮沢賢治の短編を読む短編と言え, 『風の又三郎』が有名かと思いますが, 次に有名なのが『注文の多い料理店』ではないでしょうか? 子供の頃, 学校の教科書で, この話を読んだ覚えもあるかと思いますが, 宮沢賢治は, 一体読者へ何を伝えたかったのでしょうか? 改めて大人になって読み返してみた時に, 宮沢賢治が言葉に込めて伝えたかった意味が理解できるのではないのでしょうか。 そこで本講座では, 有名な『注文の多い料理店』とあまり知られていない『毒もみのすきな署長さん』を取り上げ, 宮沢賢治が作品に込めた思いを読んでいきたいと思います。
対象	中学生・高校生
備考	パソコンとプロジェクター, スクリーンを使用します。

氏名	三村 敬之 (みむら たかゆき) 「英語学」・「言語学」
題目	ことばの研究：日本語と英語の言語的特徴を中心に
キーワード	日英比較、言語の多様性と普遍性、英文法
講義概要	日常的に言葉を用いてコミュニケーションを取る我々の周りには、日本語、英語、中国語、ドイツ語など数多くの自然言語が存在します。この講義では、このような数ある自然言語の中でも、主に日本語と英語に焦点を当て、両言語に見られる表現上の類似点と相違点をもとに、日本語と英語の言語的特徴を考察していきます。この講義を通して、皆さんが日頃慣れ親しんでいる日本語と現在学習している英語、さらには「そもそも言葉とは何なのか」といった、我々にとって身近な言葉の理解をより深めていきたいと思えます。
対象	中学生、高校生
備考	パソコンとプロジェクター、スクリーンを使用します。

氏名	河野 暁子(こうの あきこ) *臨床心理士
講義題目	相手も自分も大切にするコミュニケーション
キーワード	心理学、アサーション、言語的コミュニケーション、非言語的コミュニケーション
講義概要	相手も自分も大切にするコミュニケーションのことを、心理学では「アサーション」といいます。「こんなことを言ったら、相手はどう思うだろう…」と相手の反応を気にして、言いたいことが言えない。相手の話を聴かず、自分の意見ばかりを主張する。どちらも、コミュニケーションとしては上手だとは言えません。本講義では、日常生活でのコミュニケーションを円滑にするための「アサーション」を学びます。
対象	高校生以上
備考	講師用にパソコン、プロジェクター、スクリーンを使用します。講義内容は受講生に合わせて調整できますので、ご相談ください。

氏名	河野 暁子(こうの あきこ) *臨床心理士
講義題目	心理学で社会を見てみよう
キーワード	社会心理学、対人関係、同調行動、ラベリング理論
講義概要	人は一人で生きているわけではなく、社会の中で生きています。互いに影響を与え合う中で、好意を持ったり、葛藤を抱えたり、集団による圧力を感じたり、差別や偏見が生まれたりします。対人関係や社会で起こる現象を、社会心理学の視点で解説していきます。心理学を身近に感じられる講義です。
対象	高校生以上
備考	講師用にパソコン、プロジェクター、スクリーンを使用します。講義内容は受講生に合わせて調整できますので、ご相談ください。

氏名	和川 央(わがわ ひろし)
講義題目	アンケート調査の超入門
キーワード	サンプルサイズ、調査設計、調査票
講義概要	人々の考えや行動を把握する手法としてアンケート調査はとても有効ですが、事前の調査設計を疎かにすると、その意義は大きく低下してしまいます。講義では、調査対象者数の決定、避けるべき設問など、アンケート調査設計で最低限知っておくべき基本的事項について、専門社会調査士の資格を持つ講師が説明します。
対象	中学生以上
備考	

氏名	和川 央 (わがわ ひろし)
講義題目	Excelを活用した統計分析入門
キーワード	相関分析、平均値の差の検定、独立性の検定
講義概要	パソコンの普及により様々な統計分析が簡単に実行できるようになりました。講義では、研究やビジネスで用いられる、相関分析、回帰分析、平均値の差の検定、独立性の検定などの統計分析の手法をExcelを使って学びます。
対象	中学生、高校生
備考	プロジェクタとスクリーン、一人一台のパソコンが必要です（宮古短期大学部の施設利用可）。受講者は、Excelによる四則演算ができることが望ましいです。

氏名	和川 央 (わがわ ひろし)
講義題目	ウェルビーイングって何？
キーワード	幸福、主観的幸福感、生活満足度
講義概要	近年、行政や企業経営など様々な場面で「幸福」を表す「ウェルビーイング」への関心が高まっています。本講座では、公共政策の視点から、今なぜウェルビーイングに注目が集まっているのか、岩手県ではウェルビーイングを政策にどのように反映させようとしているのか、などについて説明します。
対象	高校生以上
備考	プロジェクタとスクリーンを使用します。

氏名	谷藤 真琴
講義題目	課題研究のまとめ方
キーワード	問いの立て方、情報収集の仕方、論文のまとめ方、発表の仕方
講義概要	問題の発見、問いの立て方、テーマ設定の方法、問題を解決するための（フィールドワークを含めた）情報収集の方法、収集した情報のまとめ方、アンケートの設計の仕方、論文の書き方、発表の仕方等課題研究に関して話します。そのほか指導する上での課題等について具体例を取り上げながら、改善・解決に向けてのご提案をさせていただくこともあります。
対象	中学生以上（教職員のみも可）
備考	①プロジェクターとスクリーンを使用します。また、講義の内容等は、受講生に合わせて調整しますので、まずはご相談下さい。②講義内容によっては、これまでの成果物をご提供いただくことがあります。③以前お申込みいただいた場合は、関連したテーマでもお申し込みいただけますので、お問い合わせください。

氏名	谷藤 真琴
講義題目	経営から考えるまちづくり
キーワード	地域（まち）おこし、コミュニティ形成、アントレナーシップ
講義概要	まちづくりには、コミュニティの役割が欠かせません。ではそのようなコミュニティがどのように形成され、活用されていくべきでしょうか。これに必要な知識を経営の観点から話します。また将来地域を担っていく人材には何が必要なのか、具体例を示しながら、皆さんと一緒に考えていきます。
対象	中学生以上（教職員を含む）
備考	プロジェクターとスクリーンを使用します。